

一わがまち歴史探訪、足もとの文化遺産への誘い
ミュージアム都留からのお知らせ

芭蕉のさと企画展 甲州俳諧展「甲州の自然と変容する文化」

甲州は豊かな自然を蓄え、文化的には江戸近隣の土地として常に刺激的な動向を示してきました。

本展示においては、甲州の自然をいろいろなパネルや資料類を駆使して明らかにすると同時に、文化的にいかに関開していったのかを概観してみようと思います。

江戸時代において、甲州ほど大都市の影響を受けて、変動していった土地はありません。日本の縮図的な様相で、大都市・江戸の影響を受けていったようです。

まずは江戸俳壇の大物俳人・岸本調和に、甲府あたりの俳人は指導を受けました。そこにおける組織的な指導が、『俳諧白根嶽』に結びつきます。『俳諧白根嶽』は、もっとも古い甲州俳書なのですが、そこに集う人々は当時においてももっとも先進的な文化人たちだったと考えてよいでしょう。しかし、あくまでも調和の指導下の人々ですので、そこから飛躍していくことはありませんでした。注目すべきは、甲州で組織化された活動が展開していったわけで、その具体は加点資料として残っています。それらから調和の指導の実態がわかります。

対して谷村では松尾芭蕉と高山樗牛との個人的な交流が始まっていきます。秋元藩(当時、谷村を支配)の江戸藩邸が、深川の芭蕉庵に近かったことから始まった交流なのですが、それはあくまでも家老の高山樗牛と芭蕉との個人的な関係でした。残念なことに、樗牛は仕事が多忙で、蕉門俳人として飛躍していかなかったのですが、芭蕉が変風していく時代に活躍した存在として、重要な意味を持つものだと判断されます。

元禄時代の甲州俳諧は、基本的に調和系統の人々の活動で席捲されていきます。その後享保時代には、いろいろな俳人が甲州を訪問し、また漢詩人たちも訪れてきます。たとえば、大淀三千風・稲津祇空・松木珪琳・中川宗瑞・さらには佐久間柳居門下の門徒と多彩です。もっとも決定的な事件は、門徒(江戸俳人)に敲氷が師事し、蘭更(京俳人)に可都里が師事したことでした。ともに田舎蕉門に所属するのですが、師匠系統の違いから甲府方面に二大派閥が成立していきます。幕末の甲州俳壇は、敲氷・可都里の両者が、指導的立場に立って、展開していくのですが、可都里のもとに辻嵐外らがやってきて、ようやく多彩な撰集活動も観察できるようになります。

これらの動向を辿ることにより、甲州の文化的実態を明らかにしていきたいと思います。甲州俳壇・文壇の様相を概括的に示しながら、郷土の文化的展開を楽しんでみたいと思います。

会期	12月9日(火)～平成21年2月15日(日)
時間	午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
観覧料	一般 300円(210円) 高・大学生 200円(140円) 小・中学生 100円(70円) ※()内は20名以上の団体料金です。
休館日	毎週月曜日、第3火曜日、祝祭日の翌日 12月29日(月)～平成21年1月3日(土)

◆企画展 関連イベント◆

俳句かるた練習会

来年1月10日(土)の市民俳句かるた大会に出場される皆さん、大会の前にちょっと腕だめしをしてみませんか。

日時 12月20日(土)午後1時～

場所 ミュージアム都留 研修室

※大会に出場されない方でも、自由に参加できます。

※事前の申し込みは不要です。当日会場までお越しください。

冬休みチャレンジ教室

しめ縄作り～本格的なしめ縄が作れます～

日時 12月23日(祝)午後1時～

場所 ミュージアム都留

持ち物 カッター、30cmの定規

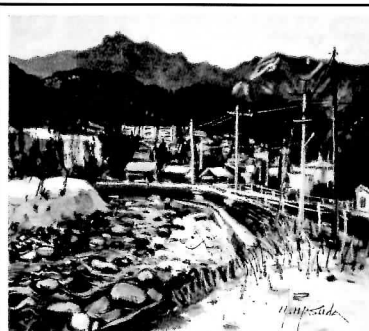
定員・材料費 30名、100円

※定員になり次第締め切ります。(申し込みください)

申込・問合せ先 ミュージアム都留 ☎(45)8008

勝山城のなぞに迫る!

12月になり、勝山城の調査も残すところ、あと3ヵ月となりました。調査は引き続き本丸に重点を置いて実施しています。調査では柱穴・長方形のピット群が確認され、建造物の性格に迫りつつあります。また、来年の報告書作成に向け、調査の成果をまとめるべく測量調査や室内整理作業も実施しています。残りの調査期間はわずかですが、今までの成果をまとめられるよう調査を進めたいと思います。



「大野」
《作品の紹介》
都留文科大学附属小学校前から菅野川と三ツ峠を描いた作品です。

増田誠美術館
画伯が描いたふるさとの風景
会期 平成21年2月22日(日)まで
開館時間 午前9時～午後4時30分
会場 増田誠美術館(ふるさと会館 2階)
休館日 月曜日、第3火曜日、祝日の翌日、12月29日(月)～平成21年1月3日(土)
増田誠がこの世を去ってから20年が過ぎようとしています。亡くなる直前に描いた市内各所の風景を中心に展示します。ぜひお越しください。